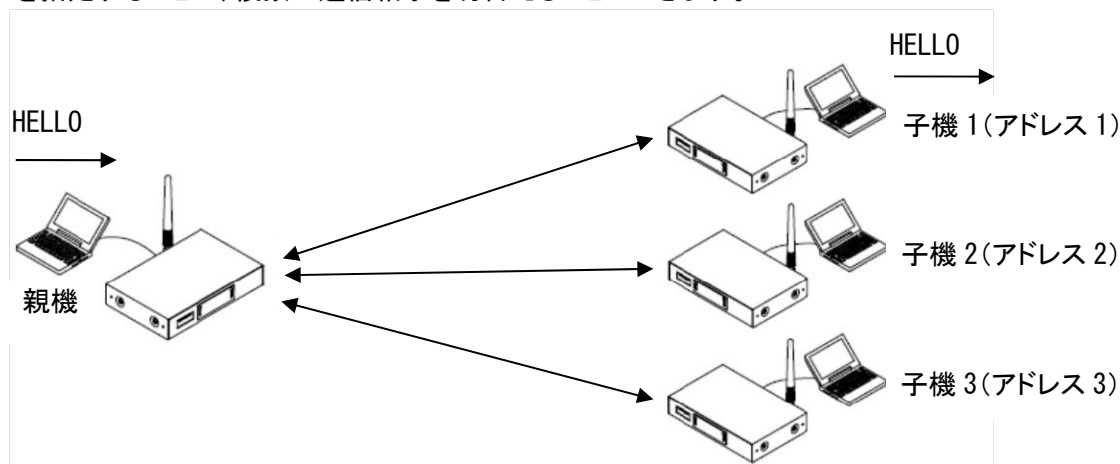


データ透過モード（通信モード 2: コマンド接続モード）

1. システム構成

送信するデータをフリーフォーマットで入力して、送信します。
 設定はメモリレジスタで行い、1:1 通信、1:N 通信が可能です。
 回線の接続/切断をコマンド（CON/DCN）により行います。
 アドレスを指定することで、複数の通信相手を切替えることができます。



2. スイッチ設定

ディップスイッチは、SW No. 8 のみ ON、ロータリースイッチは、「0」にします。

3. レジスタ設定

パソコンと無線機を RS232C ストレートケーブルで接続して、Futaba Term などのターミナルソフトを使い、REG コマンドでレジスタを設定します。

【親機】

```

REG00:00H (アドレス 0)
REG01:F0H
REG02:00H
REG03:01H
REG04:00H
REG05:00H
REG06:00H (周波数ホッピングパターン 0)
REG07:05H
REG08:11H
REG09:13H
REG10:40H
REG11:32H
REG12:B4H
REG13:1EH
REG14:00H
REG15:01H (コマンド認識インターバル: 0.1sec)
REG16:32H
REG17:32H
REG18:2DH (データ透過モード、コマンド接続/切断モード、宛先アドレスチェックを行う)
REG19:40H (マスター局、ダイバシティ受信を行う)
REG20:07H (RS232C: 38400bps, 8bit, パリティなし 1stop bit)
REG21:09H
REG22:00H
REG23:00H
REG24:00H
REG25:0DH
REG26:0AH
REG27:00H
REG28:00H
REG29:00H
REG30:00H
REG31:00H
  
```

【子機 1】	【子機 2】	【子機 3】
REG00:01H (アドレス 1)	REG00:02H (アドレス 2)	REG00:03H (アドレス 3)
REG01:FOH	REG01:FOH	REG01:FOH
REG02:00H	REG02:00H	REG02:00H
REG03:01H	REG03:01H	REG03:01H
REG04:00H	REG04:00H	REG04:00H
REG05:00H	REG05:00H	REG05:00H
REG06:00H (親機同様)	REG06:00H (親機同様)	REG06:00H (親機同様)
REG07:05H	REG07:05H	REG07:05H
REG08:11H	REG08:11H	REG08:11H
REG09:13H	REG09:13H	REG09:13H
REG10:40H	REG10:40H	REG10:40H
REG11:32H	REG11:32H	REG11:32H
REG12:B4H	REG12:B4H	REG12:B4H
REG13:1EH	REG13:1EH	REG13:1EH
REG14:00H	REG14:00H	REG14:00H
REG15:01H (親機同様)	REG15:01H (親機同様)	REG15:01H (親機同様)
REG16:32H	REG16:32H	REG16:32H
REG17:32H	REG17:32H	REG17:32H
REG18:2DH (親機同様)	REG18:2DH (親機同様)	REG18:2DH (親機同様)
REG19:42H (スレーブ局)	REG19:42H (スレーブ局)	REG19:42H (スレーブ局)
REG20:07H (親機同様)	REG20:07H (親機同様)	REG20:07H (親機同様)
REG21:09H	REG21:09H	REG21:09H
REG22:00H	REG22:00H	REG22:00H
REG23:00H	REG23:00H	REG23:00H
REG24:00H	REG24:00H	REG24:00H
REG25:0DH	REG25:0DH	REG25:0DH
REG26:0AH	REG26:0AH	REG26:0AH
REG27:00H	REG27:00H	REG27:00H
REG28:00H	REG28:00H	REG28:00H
REG29:00H	REG29:00H	REG29:00H
REG30:00H	REG30:00H	REG30:00H
REG31:00H	REG31:00H	REG31:00H

《注意事項》

- レジスタを設定する前に、無線機を初期化することをお勧めします。
- レジスタ設定を反映させるには、@RST コマンド、又は電源再投入を行ってください。
- シリアル通信条件を変更した場合、PC ターミナルソフトのボーレート、パリティ、スタート/ストップビットを設定した値に合わせてください。

4. 通信手順

(1) 親機(アドレス 0)から、子機 1(アドレス 1)への通信

```
[親機] > @CON001 [CR] [LF]
      < P1 [CR] [LF]
      < P0 [CR] [LF] (回線接続 正常終了)
      > HELLO
                                     [子機 1] < HELLO
```

(2) (1)後に、子機 2 への通信

```
[親機] > @DCN [CR] [LF]
      < P1 [CR] [LF] 、 <P0 [CR] [LF] (回線切断 正常終了)
      > @CON002 [CR] [LF]
      < P1 [CR] [LF] 、 <P0 [CR] [LF] (回線接続 正常終了)
      > HELLO
                                     [子機 2] < HELLO
```

《注意事項》

- 子機から親機への接続要求や、子機から子機への接続要求も可能です。
- 切断中でも、親機から定期的にビーコンが無線送信されます。
- LED は回線接続中は、C0 が緑点灯します。データ入力時は送信側の SD が緑点灯して、送信が終わると赤点灯に戻ります。
- コマンドヘッダは有効です。コマンドヘッダをデータとして送信する場合は、コマンド認識インターバル (REG15) を適切な値に設定してください。詳細は、取扱説明書をご参照ください。